

## 有事に備えて防災訓練

### 十日町地区自主防災組織

10月8日、平成24年に発足した十日町地区自主防災組織が、町内組織としては初めて防災訓練を行いました。訓練には約90名の地区住民が参加。消化器を使った初期消火訓練やAEDの使用法を含めた応急処置訓練、炊き出し訓練のほか、一人暮らし世帯と高齢者世帯の確認を行いました。今年は町でも豪雨による被害などが確認される中、「自助」の意識を高める良い機会となりました。



▲消防署金山支署員の指導を受けてAEDを操作体験

## 町交通安全母の会が創立50周年

### 「金色のタスキ」に思いを込めて

町交通安全母の会が創立から50年を迎え、10月21日に記念式典を開催しました。当会は「交通安全は家庭から」という基本理念のもと、長きにわたり地域協働の交通安全活動を展開。松田聖子会長は「交通弱者である子どもと高齢者の事故防止、飲酒運転の撲滅を中心に一層意識を高めていく必要がある」と話し、今後もトレードマークである金色のタスキとともに活動していくことを誓いました。



▲交通安全母の会の歌を斉唱する松田会長と理事の皆さん

▼優勝決定後にアンコールでもう1曲披露する正野さん



## 歌・カラオケ文化は町にうるおいを カラオケのど自慢大会

10月8日、金山歌ノ会（永山茂樹会長）が主催する第4回カラオケのど自慢大会が開催され、6名の出場者が歌声を披露しました。例年、併せて開催している町産業まつりが、台風の接近により中止。町内飲食店に会場を移して開催されました。のど自慢たちを抑え優勝した正野洋子さん（上台）は「三度の飯より歌が好き。最高の気分です」と喜びを語ってくれました。

▼スライドを用いて人権について説明する柴田幸雄委員



## 金山コネクタで初の人権教室 「気軽に人権擁護委員へ相談を！」

新庄人権擁護委員協議会金山部会として初となる企業人権教室が10月13日、金山コネクタで開かれ、約80名の従業員が人権について理解を深めました。企業においても人権尊重の重要性が認識される現代。町の人権擁護委員3名が「人権とは？」といった基礎から説明されました。参加者らは「思ったより親しみやすかった。何かあれば人権擁護委員に相談したい」などと話していました。



1\_100食がふるまわれた芋の子汁 2-3\_軽トラックの上に品々が並べられた 4\_大きなボードに写真を展示 5\_焼きそばのふるまいには行列も 6\_秋晴れのもと賑わいを見せた

## 乳幼児と生徒のふれあい教室 子育ての大変さと命の尊さを学ぶ

適時適育事業の一環として、新庄南高校金山校の生徒と地域の乳幼児らが交流するふれあい教室が10月3日と12日の2日間に分け、農村環境改善センターで開かれました。恐る恐る赤ちゃんを抱きあげる生徒からは「小さくてかわいい！」などと声が上がっていました。生徒らは赤ちゃんについて、疑問に思っていることをママたちに質問。子育ての大変さとともに、命の尊さを学ぶ機会となりました。



▲抱っこやおもちゃ遊びで赤ちゃんに触れ合う高校生

# まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。  
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

## 西郷地域で今年も大盛況 もったいないフリーマーケット

10月8日、7回目となる西郷地域もったいないフリーマーケットが開催され、会場となった町教育文化資料館は子どもから大人まで、多くの来場者で賑わいました。訪れた人には焼きそばや芋の子汁が振る舞われ、交流を楽しみながら買い物をしていました。資料館内では、山形大学チーム道草写真部による作品を展示。西郷地域の人物や風景など、学生の視点で撮影した写真が並びました。

▼内閣総理大臣からの賀詞を持ち、笑顔で応えるトメさん



## 祝！丹トメさんが100歳 町から賀詞・お祝い金を贈呈

丹トメさん（稲沢）が、10月16日に100歳を迎えられ、鈴木町長からご家族へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。トメさんは大正7年生まれ100歳。大きな節目を祝して、9月には内閣総理大臣からも賀詞が贈られました。これからは健康に留意されて、ご家族の皆さんとともに長生きしてくださることを願っています。本当におめでとうございます。